

心をひとつに、希望をつなぐ——。

HOPE for LIVING 東北

ホープ・フォー・リビング 東北

報告書

2011 年 9 月～2012 年 3 月

皆様の尊いご支援に感謝いたします

宗教法人 ニューライフ・ミニストリーズ 新生宣教団

私たち新生宣教団は、
神様のみことばには人生を変える力があると信じています。

私たちのビジョンは、
日本をはじめ、すべての国々が福音で満たされることです。



日本を襲った 2011 年の 3.11 の大震災は、
「日本人に本当に必要なものは何か」を私たちに問いかけました。

政府は生活に必要な物資を提供することができました。
しかし、私たちは被災された人々が本当に必要としているものは
キリストの福音からくる「真の救い」だと確信しました。

震災直後に海外のいくつかの団体から支援を頂きました。

私たちはこの支援を用いて
2011 年 4 月に「ホープ・フォー・リビング プロジェクト」を立ち上げ、
心の癒やしと平安のため日本全国に福音文書を届けました。

そして、9 月からは東北に絞って
第 2 段階の「**HOPE for LIVING 東北**」を
スタートしました。

この働きは、日本と海外からのご支援によって進められました。

皆様から頂いた多くのご支援は、
東北の被災した地域に大きな変化をもたらしています。
古い習わしが深いこの地域で、人々が喜んで福音文書を手に取ります。
救われる方も次々と起されています。

ここに、今年 3 月まで行われた「**HOPE for LIVING 東北**」の活動を
感謝と共にご報告いたします。

2011 年 3 月 11 日 2 時 46 分
東日本大震災発生

新生宣教団スタッフ被災地訪問、
生活支援物資を届ける



2011 年 4 月～8 月

ホープ・フォー・リビング プロジェクト、
HOPE for LIVING スタート
日本全国に向けサンプル発送
新生宣教団スタッフ被災地訪問
各種福音文書 300 万部を、
全国 1500 以上の教会へ発送
海外協力団体来日



2011 年 9 月

HOPE for LIVING 東北 スタート
東北地域限定のお知らせ準備
全国に向け支援のお願い準備
福島第一バプテスト教会の佐藤彰先生を
招いて宣教祈禱会を持つ



東北用告知ポスター



全国支援依頼ポスター

2011 年 10 月

東北 530 教会へ向けサンプル発送
東北の教会へ案内（電話案内）
全国に向け支援のお願い発送
「ざ・ばいぶる」企画



FAX、E-mail、電話による申し込みの受注開始

2011 年 11 月

「ざ・ばいぶる」制作スタート
「MANGA ミッション」東北用制作スタート





2011 年 12 月

クリスマスゴスペル チャリティーコンサート
ゲスト：レイ・シドニー（ゴスペルシンガー）
「MANGA ミッション」 東北用完成



2012 年 1 月

「ざ・ばいぶる」 完成
宮城宣教ネットワークと協力、
現地のアドバイスをいただく



2012 年 2 月

「ざ・ばいぶる」 発送開始
「今、あなたに何が起こっているのか」 発送開始
「ざ・ばいぶる」 大型企画
被災地（気仙沼）イベントにて福音文書直接配布



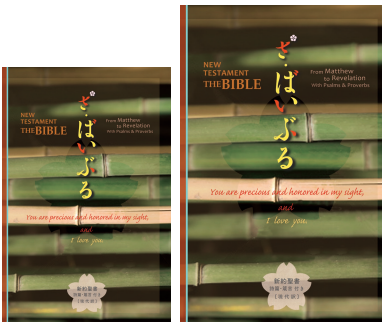
2012 年 3 月

「クマのリッキーとにじいろのたまご」 発送開始
「ざ・ばいぶる」 15,000 冊を、
被災地支援「東北希望の祭典」(3/2-4)へ贈呈
「ざ・ばいぶる」(大型)を 2,000 冊を
「東日本大震災追悼記念礼拝」(3/11)へ贈呈
宮城宣教ネットワークの先生方から意見収集



2012 年 4 月

宮城宣教ネットワークの先生方の意見を生かし、
第 3 段階 **HOPE for LIVING 絆** プロジェクト スタート



震災から1年が経ち、専門家の間ではPTSD（心的外傷後ストレス障害）が問題になると言われていました。冷たい雪に閉ざされた被災地の方々のため、この「HOPE for LIVING 東北」は2011年の9月にスタートしました。今回の「HOPE for LIVING 東北」で配られた無料福音文書は8種類です。



漫画

Manga

今や、世界でも認められる日本の「マンガ」は、伝道ツールとしても訴求力があります。これらの「マンガ」は東北の被災者の方々にも多く受け入れられました。



『マンガ メサイア』

四福音書を迫力あるタッチで描いたフルカラーの漫画です。この漫画を読んだ後に聖書を読むと、みことばが分かりやすく入ってきます。若者だけでなく全世代に向けてアプローチできます。

■ A5 判変型 フルカラー 288 ページ

『MANGA ミッション』

聖書の創造、キリストの誕生、十字架、復活が描かれた小冊子です。福音の全体を伝えるのに効果的です。付録で、被災地向けのPTSDを克服するためのアドバイスのページ付き。

■ A5 判変型 フルカラー 64 ページ

『ザ・サーチ』

真実を求める旅の果て、神に出会う青年の話が展開されます。人生の疑問に対する答えを探すストーリーは、読者に共感をもたらします。キャンパスクルセードと共同で制作された「四つの法則」の漫画版。

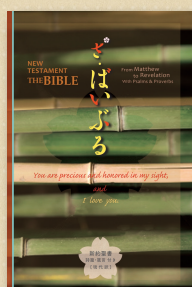
■ A5 判変型 フルカラー 64 ページ



聖書関連

Bible

どんな状況の中でもみことばは力があります。新生宣教団では、初心者が聖書を理解するのを助けるための書籍を提供しました。どちらも現地で喜ばれました。



『ざ・ばいぶる』

新約聖書 詩篇・箴言付〔現代訳〕

渡しやすい表紙デザインの新約聖書です。聖書に初めてふれる人のために、「聖書の使い方」「難しい用語の説明」「各書の難易度」「各書の概要と読むためのガイド」など初心者向けの工夫を盛り込みました。現代訳聖書刊行会のご協力で「現代訳」を使用。ヨコ組みの分かりやすい聖書です。

■ B6 判変型 512 ページ

『コンサイスバイブル』

聖書を読む前に渡す本です。求道・初心者が「福音」を理解するお手伝いをします。「創世記」から「黙示録」までの主要なところを抜粋し、小学生から大人まで幅広くご活用いただけます。イスラエルの写真や挿絵を交え、臨場感あふれるページ構成です。※この本は聖書ではなく要約書です。本書を読み終えた方へは、「聖書」そのものを読むようお勧めください。

■ B6 判変型 フルカラー 336 ページ

その他

Others

海外からの支援により、さまざまなニーズに応えるため、「トラクト」「ディボーションブック」「絵本」を制作しました。主婦、学生、子どもに多く配られました。



『今、あなたに何が起こっているのか?』

大災害に直面した時に心に抱く疑問に丁寧に1日1章で答える良書。思いに寄り添いみことばで答え、アドバイスで勇気づけるディボーションブックです。

■ A5 判変型 フルカラー 48 ページ

『クマのリッキーとにじいろのたまご』

ボランティア団体の代表が、被災地で出会ったクマのぬいぐるみから生まれた優しい絵本。美しい絵は、子どもだけでなく大人をも癒やしてくれます。

■ A5 判 フルカラー 28 ページ

『平穏無事ないつもの日——』

穏やかな日々突然襲いかかる大災害。援助の手は差し伸べられるが、本当に必要な助けはどこからくるのか……。平安を得るために、神を知り、十字架の愛と救いを知るよう優しく導きます。柔らかな雰囲気のパインの表紙で主婦の方に渡しやすいトラクトです。

■ A6 判 フルカラー 4つ折り 8 ページ

HOPE for LIVING 東北のキャンペーンにより合計407,000冊あまりの福音文書が、東北の教会の要請に応え、癒やしと希望を伝える一つの目的のもと届けられました。これらは東北地域の150以上の教会、団体、個人へ送り届けることができ、その方々の手によって東北各地に配られました。



電話アングレートを行いました

(^o^) どのように用いましたか？

無料で持ち帰れるように、教会前にスタンドを設置した。初めて教会にこられた方に渡した。イベントで用いた。友人、訪問先、郵便受け、地域の学校、デイケアセンターで、また、駅に置いてもらった、など。

福島のある教会では、地震後、町のコミュニティーセンターがひどくダメージを受けたため、アルコール依存症やその他の依存症の方々が集える場所として教会が提供され、そこで60～70人の方に配られたという報告がありました。

(^o^) 配布の反応はどうでしたか？

『マンガ メサイア』は一番多く用い役に立った、若者が多く受け取った、と多くの教会から反応がありました。4つの教会から『マンガ メサイア』を読んで救いに導かれた人が起こされたとの報告がありました。また、宮城県の4つの教会から配布後、福音文書のおかげで教会出席者が増えたという報告も。青森では、福音文書を配ったすぐ後に「教会へすぐ行きたい」という人から電話があったそうです。お話を伺えた93教会の内90の教会がHOPE for LIVING 東北は伝道活動に役立ったという答えでした。

(^o^) フィードバック(ご意見)です。

アンケートの最後に今後の必要について伺いました。いちばん多かったのは「文字の大きなものが欲しい」「トラクトはシンプルな分かりやすいものが欲しい」でした。これは仮設住宅に暮らす多くの高齢者への必要があるからです。その他、マンガは多くの人に好評。『コンサイスバイブル』は初心者に分かりやすくて良い。今まで聖書は義務的に受け取られていたが『ざ・ばいぶる』は魅力的なデザインで、説明も分かりやすいと喜んで受け取ってくれる、などの感謝が寄せられました。

秋田県 AKITA

人口：1,076,781

クリスチヤンの数：2,086

教会の数：61

注文教会の数：19（県内教会の31%）

送られた本の数：42,640

HOPE for LIVING 東北の合計の11%

山形県 YAMAGATA

人口：1,161,357

クリスチヤンの数：2,342

教会の数：73

注文教会の数：27（県内教会の37%）

送られた本の数：84,640

HOPE for LIVING 東北の合計の21%

※今回の無料福音文書を使用してくださった教会は東北全体の30パーセントにのびります。大震災の影響が少ないにもかかわらず、山形県の使用量が多いのは、福島県などの被災地からの避難者が多いためと思われます。宮城県は、東北の中でも教会数が多く、伝道活動も盛んです。私たちの活動にも協力してくださっています。



青森県 AOMORI

人口：1,363,711

クリスチヤンの数：2,282

教会の数：77

注文教会の数：19（県内教会の 25%）

送られた本の数：41,400

HOPE for LIVING 東北の合計の 10%



岩手県 IWATE

人口：1,327,153

クリスチヤンの数：1,596

教会の数：57

注文教会の数：18（県内教会の 32%）

送られた本の数：32,320

HOPE for LIVING 東北の合計の 8%

宮城県 MIYAGI

人口：2,346,853

クリスチヤンの数：6,759

教会の数：136

注文教会の数：39（県内教会の 29%）

送られた本の数：123,760

HOPE for LIVING 東北の合計の 30%

福島県 FUKUSHIMA

人口：1,997,400

クリスチヤンの数：3,479

教会の数：145

注文教会の数：36（県内教会の 25%）

送られた本の数：82,030

HOPE for LIVING 東北の合計の 20%

※人口・クリスチヤンの数・教会の数は「クリスチヤン情報ブック 2011」より

福音文書の一つを通して救われた、 宮城県の仙台から寄せられた一人の青年の証し。

この証しは、新生宣教団のスタッフが、現地で伺った18歳の青年の証し。

彼は『マンガ メサイア』を読んで信仰告白に導かれ、洗礼を受けることを決断した。

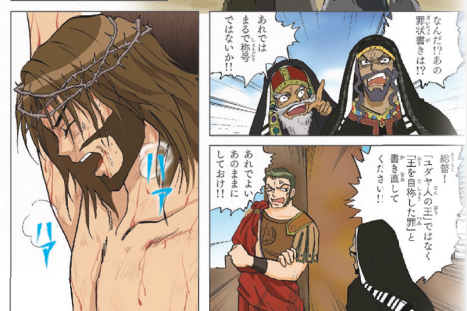
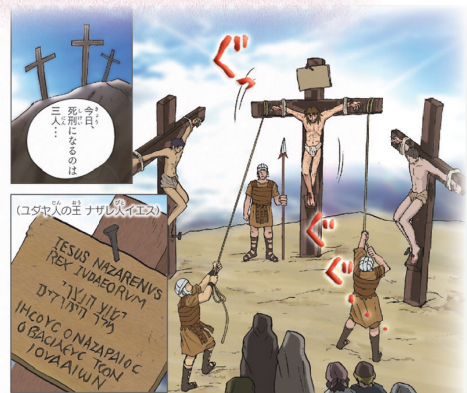
R・T君は未信者の家庭で育ち、過去に教会に行ったこともなかったが、旭ヶ丘キリストの教会の建っている場所が理由で教会に来るようになった。教会はもともとが家屋だったので家庭的な雰囲気があり、ドアはいつも近所の子もたちのために開けてある。教会はデイケアセンターと公園のちょうど中間にあり、多くの学生にも近道として使われ、地元の子もたちが「秘密基地」に使う場所のうちのひとつだと千田俊昭牧師は説明する。

千田牧師はこの有利な立地を有効に使い、漫画やトラクトを教会の外に置き、無料で

配布している。今のところとても効果的で、それらはすぐになくなるのだと千田牧師は語ってくれた。

漫画とトラクトは同じく教会の中にも自由に読めるように置いてある。R・T君は教会に通い始めてから2年がたっていたが、ある日『マンガ メサイア』を教会近くの公園で30分で一気に読み終えた。漫画を読み終えるころには神様を信じる決心がつき、すぐに教会へ戻り千田牧師に報告した。そして、2012年のイースターに会衆の前で信仰告白をし洗礼を受けたのだ。

彼は最近高校を卒業し、将来の計画を立て始めている。「漫画は彼が信仰を決意するための最後の一押しとなりました」と千田牧師は説明する。「皆様の働きにとても感謝しています」とR・T君は感謝を述べた。





電話アンケートでお聞きした青森の女性の証し。

「涙とともに種を蒔く者は、喜び叫びながら刈り取ろう」(詩篇 126:5)

青森のある女性が、どのように『コンサイスバイブル』と『ざ・ばいぶる』を用いて彼女の友達そして周りの地域に伝道しているかを語ってくださった。彼女は現在 62 歳、医療保健の仕事を引き退し、東北で同じ分野で働いていた友人たちにも福音を伝えるための働きをしている。彼女は自衛隊にいる親戚や刑務所の受刑者にも、福音文書を送っている。

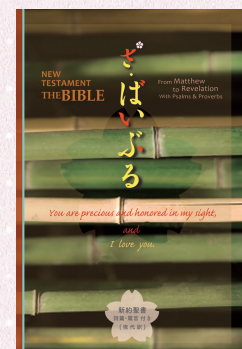
彼女のミニストリーにおいて大きな成果を見たのは『ざ・ばいぶる』を友人たちに送った時だった。東北に住む彼女の友人たちの 3 分の 2 が彼女にお礼の返事をしてきて、聖書を読み始めたというのだ。何人かの友人が、「実はキリスト教系の学校を卒業した」、「キリスト教には悪い印象を持っていない」と打ち明けた。何十年もの付き合いがあったにもかかわらずこれらのことを初めて耳にし、驚きを覚えたという。

友人の医師の一人は、学生のころから聖書を読み、聖書は彼の信じる進化論と相反するといつも思っているが、今回送った『ざ・ばいぶる』と『コンサイスバイブル』を読んでもらっているという。また別の医師は、被害にあった地域にボランティアで回るたびに自分の無力さを感じていたが、第 2 テモテ 3 章の「終わりの日」について書かれている箇所を、『ざ・ばいぶる』で読み、聖書の言葉を心から理解でき、魂に力を得て、

働き続けられたとあった。キリスト教に以前はオープンではなかった彼女の友達からこれらのことを聞き、彼女はとても励まされていた。

受刑者に聖書を送る彼女の働きでは、追加の『ざ・ばいぶる』の依頼を 1 人の受刑者から手紙で受けた。同室の受刑者から自分も『ざ・ばいぶる』が欲しいと頼まれたと言う。刑務所に送れる本の数や対象者が限られているため、どのように送ることができるか現在考えている。

彼女は『コンサイスバイブル』と『ざ・ばいぶる』が彼女の友人、そして周りの地域の人に与えた影響を見てとても喜んでいる。彼女は強く「聖書の必要がある」ことを確信し、また本屋であまり聖書を見かけなくなったことや、キリスト教書店の数が減ってきたことを残念に思っている。今回の **HOPE for LIVING** 東北で彼女の働きにこれらの福音文書が与えられたことに非常に感謝していると語ってくれた。



気仙沼第一バプテスト教会の嶺岸浩牧師の証し。

役に立った福音文書

気仙沼にある気仙沼第一バプテスト教会の嶺岸牧師は3月11日に起こった地震の後にどれほどこの福音文書が役に立ったかを話してくださった。先生の教会は海岸の近くにあり、隣に建てられていた自宅ともども完全に津波に流されてしまった。その後、内陸地に場所を移し礼拝を守ってきた。教会の跡地には震災を覚えるためにボランティアの手によって作られた木製の大きな十字架が今も立っている。

多くの方の心が開かれている

3月11日以来、教会は必要物資を地域の人に配る働きをし、多くの方が心を神様に開くのを見たと嶺岸牧師は言う。嶺岸牧師は15人もの方が信仰告白をしたと語った。そしてその他の何人かも、信仰を持つには至らないものの、定期的に教会に集まっているという。20人弱の信者の集まりの教会にとってこれは大きな出来事であり、地域において神様の働きを目の当たりにするものとなった。教会の成長のいちばんの要因はたくさんの方が家をなくし、物質的な助けを求めていることにあるのではと嶺岸牧師は語る。

しかし結果的に地域の方が受け取ったのは本当に必要としていた霊的な助けだった。

地域に福音文書を配る

伝道文書を配るのは多くの場合、家を修復・再建後の再開式に招待される時である。協力ボランティアによって家が建て直された



際、地域の牧師として祝福を祈るために呼ばれる。このような時に短いメッセージで福音を伝える機会が持てる。嶺岸牧師はメッセージの後に福音文書をご家族に渡し、皆さんはそれらを喜んで受け取る。

もし地域との関係やつながりが築けていなかったら、福音はこのように公に受け入れられなかったでしょうと嶺岸牧師は言う。先生はお米などの物資を仮設住宅に運ぶことを続ける中、福音文書も一緒に渡し続けている。地域の方々と築いてきたつながりが土台となり、人々が福音文書を心から感謝して受け取ってくれると実感している。

『コンサイスバイブル』と『ざ・ばいぶる』

『コンサイスバイブル』は新しい信者のフォローアップをする上で良い役割を果たしている。この『コンサイスバイブル』は、まず聖書とはどういうものかという説明をするのに素晴らしい一冊であり、イラストが読者を引きつけていると言う。詩篇、箴言付きの『ざ・ばいぶる』は『コンサイスバイブル』を読み終えた人の次の段階のために優れたもので、新約聖書がすべてまとめてある



ので、聖書を実際に読み始めたい人のための良いステップアップツールであると考えている。

今後の必要

どのようなものが今後欲しいかと尋ねると、世界の創造主である神のことを説明する本が必要だと語ってくださった。日本的な神観、自然が神であるという汎神論的考えをくつがえすものが必要。全宇宙を造りすべてを支配する全能者である神を伝えたい。



そしてすべてに関して言えるのは大きな文字の本が必要だということだった。お年寄りの方々が何の苦勞もなく字を読めるようにするためである。

仙台愛の教会 仮設住宅で新しい教会をスタート。

宮城県仙台にある仙台愛の教会は、新生宣教団からの福音文書が、とても実りあるものとなったことを伝えてくださった。彼らは津波の被害の後、被害が最もひどかった場所の一つ、仙台から90キロ北へ行った南三陸で働きをしている。

現在、廃墟と化した地域の仮設住宅で暮らす方々に伝道するために、教会はミッションチームを週2回派遣している。他の団体と共に、お米や毛布を持って仮設住宅を訪れる。それらの受け渡しの際に、福音文書も共に渡し徐々に関係を築いている。

彼らの話によれば、そこで10人以上の人が福音を受け入れ救われた。救われた人は、お茶を交えて福音について語り合って信じた人、ただ福音書を単純に読んで信じた人と状況はさまざま。仙台愛の教会で働く



安重植牧師(左)と韓国からの宣教師

彼らは、ミニストリーにおいて文書伝道には多くの必要があると信じている。

災害以来、彼らは聖書を何と、3000冊と、2万部のトラクト(聖書・トラクトは主に新生宣教団提供)を配布した。仙台での配布が終了後、南三陸とその他の地域で教会がまだない場所で活動を始めた。

彼らは新たに救われた10人と共に、南三陸の仮設住宅内で家の教会を始め、4月17日には新しい教会を立ち上げるため、韓国から宣教師が来日したという。福音文書を配ることができ、そしてその地での神様の働きを見ることができたことに彼らは感謝していた。

2011 年 9 月～ 2012 年 3 月の支援金と支出のご報告

支 援 金	国内献金	9,737,245 円
	海外献金	60,141,792 円
	合計	69,879,037 円
支 出	制作デザイン	3,453,740 円
	※ 印刷	60,174,400 円
	案内プロモーション	3,535,311 円
	発送・配布	1,773,349 円
	合計	68,936,800 円
	繰越	942,237 円

※印刷内訳

品 名	印刷費用	印刷部数	配布数
マンガ聖書シリーズ*	7,520,000 円	84,000 部	52,216 部
ザ・サーチ	1,512,000 円	105,000 部	63,600 部
ざ・ばいぶる（大型含む）	7,840,000 円	55,000 部	52,000 部
コンサイスバイブル	36,000,000 円	250,000 部	136,300 部
平穏無事ないつもの日	6,080,000 円	2,000,000 部	768,800 部
くまのリッキーとにじいろのたまご	640,000 円	50,000 部	25,120 部
今、あなたに何が起きているのか？	582,400 円	26,000 部	19,280 部
合 計*	60,174,400 円	2,570,000 部	1,117,316 部

※マンガ聖書シリーズは、『マンガ メサイア』『MANGA ミッション』の合計です。

※配布数合計は、東北地域から直接要望があった約 407,000 部と日本各地から東北の支援のために要望のあった約 710,000 部の合計です。

被災地の霊的必要は1年が経った今も日々増え続けています。私たちは「ホープ・フォー・リビング プロジェクト」の第3段階として「HOPE for LIVING 絆」へ入りますが、今までご提供していた8種類も在庫切れとなるまでお届けしてまいります。

どうぞご利用ください。（東北、茨城・千葉は送料無料。その他は送料実費となります）

東北、茨城・千葉へも――

心をひとつに、希望をつなぐ――。

HOPE for LIVING



被災地の声を聞いて作りました。

無料福音文書

東北、茨城・千葉へ 送料無料!



この活動はすべて皆様の献金によって支えられています。

郵便
振込

ゆうちょ銀行

口座番号：00100-3-759926
加入者名：NLL海外宣教部

振込手数料無料の便利な自動引き落としもあります。

銀行
振込

銀行名：三菱東京 UFJ 銀行 新座志木支店
普通預金：1897554

名 義：宗教法人ニューライフミニストリーズ 新生宣教団

宗教法人 ニューライフ ミニストリーズ
 **新生宣教団**
New Life Ministries

新生宣教団

検索



www.nlljapan.com

詳しくはHPをご覧ください。 お問い合わせ：宣教部 049-296-0706 E-mail W-mission21@nlljapan.com

新生宣教団は、被災地にそして日本全土に福音を満たすために、
次なるステージへ向かいます。



HOPE for LIVING 東北の内容や動画をチェックして
情報共有しよう！



facebook

「HOPE for LIVING」で検索。福音文書のサンプルや、これまでの活動の様子を見ることができます。



YouTube

「hopeforliving2」のユーザー名で登録しています。
被災地からのメッセージ、感謝の言葉を動画でアップしています。